

氏名	山 本 典 良
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 甲 第 1174 号
学位授与の日付	平成 5 年 3 月 31 日
学位授与の要件	医学研究科外科系外科学 (二) 専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Warm Blood Cardioplegia の心筋保護効果の実験的検討
論文審査委員	教授 菅 弘之 教授 原岡 昭一 教授 佐野 俊二

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

Warm blood cardioplegia の有効性を検討した。雑種成犬を用い完全体外循環下に120分間の大動脈遮断とその後60分間の再灌流を行った。心筋保護液は blood cardioplegia (BCP) を用い順行性持続的冠灌流とし、温度の相違により 2 群に分けた。W群 (warm BCP) はBCP温33℃とし、C群 (cold BCP) はBCP温16℃とし、C群のみ ice slush による topical cooling を併用した。大動脈遮断中、W群は酸素摂取率が高く好気性代謝を保つことができ、再灌流後の過酸化脂質の産生が少なく自己心拍再開率が高かった。また大動脈遮断中と再灌流中の心筋逸脱酵素遊出量と再灌流60分後における心機能回復率および水分含有量において、W群がC群より良好であった。continuous warm blood cardioplegia は cold BCP と比較し冷却による傷害のみならず虚血再灌流傷害をも防止でき、心筋保護上有用な方法であった。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は心臓外科領域における心筋保護法についての実験的な研究である。新しく考案された Warm blood cardioplegia の有効性をイヌ心臓を用いた実験で確立したもので、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。